

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	大手前大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	オオテマエダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	近畿地方(大阪府を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	総合文化学部、メディア・芸術学部、現代社会学部
	担当教職員名・役職	瀬口昌生(メディア・芸術学部 准教授)
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	32
	受入企業等数	24
受入企業等名	(株)アイテム、尼崎印刷(株)、(公財)尼崎市総合文化センター、(株)アンテリーベ、SMBC日興証券(株)、大阪ユニセフ協会、菓子工房みわあおに、グンゼスポーツ(株)、(株)神戸マツダ、(有)コビーズ、(株)JTB西日本、神姫バスツアーズ(株)、(株)新風書房、(有)大光製本所、(株)チーゼル、(株)TAT、(株)ドルチェ、内外カーボンインキ(株)、西宮市役所、野村證券(株)、ピッコロシアター、保育園パステルの森、みかげ山手ロール、(株)レオパレス21	
インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ 6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本学のインターンシップは「就業体験」により、就労に対する意識を高め、自身が描くキャリアデザインをより明確なものにすることを目的としている。そのため、主に業務体験型プログラム(社員の基幹的あるいは補助的業務の一部を経験)から構成されている。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次・3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	2・3年次生を対象に、キャリアアップ科目(選択科目、2単位)として、6～7月に事前学習、8～9月の夏休業期間中に5～10日間の就業体験実習、9～10月に事後学習を実施している。本科目では、企業研修(インターンシップ)を体験することにより、就労に対する意識を高め、自身が描くキャリアデザインをより明確なものにする。	
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している 5.その他
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	学生の主体性の喚起を目的とし、主体的行動や報連相をテーマとしたケーススタディを実施

要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている 4.その他
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	全受講生を対象とし、就業体験成果のプレゼンテーションを実施。
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全3回(計5コマ)の事前学習の中で、オリエンテーション(インターンシップの趣旨や目的の理解等)、就業体験への動機づけ(グループワーク形式にてインターンシップ中の目標設定・ケーススタディ)、ビジネスマナー研修、業界・企業研究ワークショップを実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	各自就業体験で学んだ事・感じた事などを、4～5名ずつパネルディスカッション形式で共有、就業体験成果のプレゼンテーション、企業による就業体験評価および成果目標等の達成について、個々にフィードバック面談を実施し確認している。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	実習期間中、特にモニタリングは実施していないが、実習に関する相談や不測の事態が発生した場合の指導・相談体制を整えている。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	「事後レポート」および実習前・後に実施の「セルフチェックに基づくC-PLATS成長度検査*」により、学生のキャリア成熟度や問題解決能力の成長度を測ることで、インターンシップ前後の変容を客観的に把握し、学生の自己理解を促している。(フィードバック面談時の参考資料として活用)*C-PLATSとは、本学独自の能力指標(10コンピテンシー)のこと。	
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5～10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	原則として学生1名につき、1企業のマッチング。事前・事後学習をそれぞれ3回、就業体験実習は5～10日間で実施している。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 7.その他
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	グループごとに実施する就業体験報告会(プレゼンテーション)の審査員として実習受入企業担当者を招いている。
6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本学担当者と直接折衝している実習受入企業担当者が、就業体験期間中も実習日誌等により学生指導を担当。就業体験評価についても当該担当者が評価を行っている。また、一部の企業に限られるが、グループごとに実施する就業体験報告会(プレゼンテーション)の審査員として実習受入企業担当者を招き、学生への質疑・アドバイス・評価を担当いただいている。	
7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	シラバスは一般には公開しておりません。以下、大学ウェブサイトの「就職・キャリア」に関するページのURLです(実習先企業等の情報が記載されています)。 http://www.otemae.ac.jp/career/employment/ ※シラバスについては、別途提出済み。	
問	大学等名	大手前大学

問い合わせ先	担当部署名	キャリアサポート室(キャリア教育担当)
	担当者役職名	主任
	担当者氏名	若山 佳史
	電話番号	0798-32-7513
	メールアドレス	interne@otemae.ac.jp